



▲自主防災組織の強靱化を目指して検討を重ねている(仮称)市民防災協議会検討会

ていきます。不登校の要因を特定することは困難ですが、学習指導の視点から研究を行っていきます。

(仮称)市民防災協議会 取り組み内容は

議員 自助・共助力の更なる向上のため、(仮称)市民防災協議会の発足を支援することですが、本協議会の取り組みと、防災の担い手確保について伺います。

市長 コミュニティ市民会議と自主防災組織連絡会の代表で構成する(仮称)市民防災協議会検討会で、

自主防災組織の強靱化を目指して検討を重ねています。同協議会発足後は地域特性に応じた防災訓練など、地区コミュニティ組織や自主防災組織に加えて、地域で活動する様々な関係者と密接に連携することで、地域防災力の強化に全力で取り組んでいきます。

また、防災活動の推進には、防災リーダーなどの担い手確保が重要なので、防災士を活用した仕組みなどを検討していきます。

地域共生社会の実現へ 重層的支援体制整備事業

議員 複雑化した住民課題への包括的な支援体制である重層的支援体制整備事業の実施に向けた検討が始まりますが、本事業への決意と進め方を伺います。

市長 高齢者・障がい者・児童等の各福祉分野を横断した断らない相談支援体制等の一層の整備に努めることが重要であり、対象者の属性を問わない支援を

一体的に行う重層的支援体制整備事業の実施は、本市地域福祉の更なる向上につながることを認識しています。検討に当たっては、地域共生社会等検討会に加え、地域の各種活動団体や各分野の相談支援機関等に参画いただく社会福祉審議会の下、組織を横断した検討を進めていきます。

地域と一体となった 富田地区のまちづくりを

議員 富田地区のまちづくり構想について、今までの経緯から地域の分断等を危惧していますが、今後の展開やまちの将来像について、見解を伺います。

市長 今後の展開は、誰もが気軽に訪れやすい居場所や交流の場などの創出を目指します。また、将来像は、新たな公共施設を核として、まちの魅力を高めて、まちづくりのコンセプトである「多世代が共に育むまちづくり」を目指していきます。

民間学童保育室 補助拡大と設置促進を

議員 学童保育は待機児童の解消が急務で、民間学童保育室の補助拡大と設置促進を速やかに実施すべきですが、今後の取り組みについて伺います。

市長 学童保育のあり方等に関する基本方針で、民間学童保育室には待機児童対策としての役割に加え、新たに高学年児童の受け入れを担っていただくこととし、運営事業費補助金の対象を、高学年児童にも拡大します。また、令和4年度には、未設置の5か所の中学校区に、環境整備事業費補助金の対象となる事業者を募集する予定です。

将来的な財政の見通しは

議員 新型コロナウイルス感染症や自然災害への対応は財政運営上も大きな課題です。今までの財政運営の総括と将来的な見通しに



▲未来志向の改革を着実に推進していく高槻市

ついて、伺います。

市長 令和2年度の普通会計決算では、昭和58年度からの連続黒字を維持するなど、良好な財政水準を保っています。今後も南海トラフ地震など様々な突発的事態に対応できるよう、引き続き健全財政を堅持する考えです。また、公共施設の老朽化対応経費の増大などで、今後の財政状況は厳しさが増すと見込まれますが、「みらいのための経営革新」に向けた改革方針に基づく不断の取り組みを継続し、未来志向の改革を着実に推進していきます。